

-----  
○ 8月の休館日のご案内

○ 7月の邦人に対する犯罪被害例

○ ベルギーにおける犯罪発生数

○ 渡航情報発出のお知らせ

○ フラワーカーペットにおけるスリ・置引きにご注意ください。  
-----

○ 8月の休館日のご案内

毎週土曜日、日曜日及び以下の祭日

なお、当館では当地の祝休日を休館日としていますが、『行政機関の休日に関する法律』に基づき、本邦行政機関の祝休日数（本年は年間13日）に満たない場合、残りの日数について本邦祝休日を充てておりますので、ご理解願います。

15日（水）聖母被昇天祭

○ 7月の邦人に対する犯罪被害例

7月中に大使館に届けられた邦人の犯罪被害の件数は、11件であり、今年に入ってから  
の被害届出合計数は、7月末現在、118件（昨年同期比：+30）となっています。

今月のコメント！：

※南駅の地下鉄ホームで置引きが連続発生しています。人気のいない場所で話しかけられた際は、その場を立ち去ることをお勧めします。

※昨年以來報告がなかったタイヤ修理を装う置引き被害が報告されました。車外に出る際は必ずドアをロックする習慣をつけてください。

【被害届分析表】及び【被害例】はこちら  
([http://www.be.emb-japan.go.jp/document/higaijirei\\_2012\\_07.pdf](http://www.be.emb-japan.go.jp/document/higaijirei_2012_07.pdf)) をご覧ください。

○ ベルギーにおける犯罪発生数

今般、ベルギー内務省より2011年のベルギー国内における犯罪発生数が公表されました。昨年と比較すると、犯罪総数では5.15%増加しており、特に置引き(+21.55%)、スリ(+18.53%)、強盗(+16.38%)、殺人(+12.03%)、侵入盗(+10.76%)が10%以上増加しています。また、人口

10万人当たりで日本と比較すると、窃盗総数では約5倍弱、侵入盗は約1.3倍、スリや強盗では約80倍と非常に高い発生率となっています。このようにベルギーも含め海外では一般的に日本よりも治安は良くありませんので、安全対策につき十分検討してください。なお、当館ではこのような犯罪発生数及び邦人被害数を憂慮し、引き続き、当地治安当局に対し治安対策の強化を申し入れていきます。

また、当館ホームページに掲載の「在留邦人向け安全の手引き」

([http://www.be.emb-japan.go.jp/document/anzennotebiki\\_2012.pdf](http://www.be.emb-japan.go.jp/document/anzennotebiki_2012.pdf)) を改訂し、ベルギー側の犯罪統計及び日本との比較を反映しましたので、参考としてください。

#### ○渡航情報発出のお知らせ

今般、外務省より当地在留邦人の方々に関係する以下の渡航情報（広域情報）が発出されました。

（件名）

広域情報「狂犬病～もし咬まれたら、すぐに医療機関へ」

（内容） <http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2012C236>

#### ○フラワーカーペットにおけるスリ・置引きにご注意ください。

8月15日（水）より19日（日）まで、グランプラスにおいて2年に1度のフラワーカーペットが開催されます。

当日は、ベルギー国内外より多数の観光客が訪れる見込みです。このため、人混みが多い場所ではスリや置引きが多発するおそれがありますので、所持品の管理には十分ご注意ください。

人混み等での所持品の管理の留意点は以下のとおりです。

- ・ショルダーバッグやリュックは背後に回らないようにする（特に小さなお子様連れの方は、バッグが背後に回っています。）。
- ・ファスナーを閉めていても人混みでは、気付かれずに開けられてしまいます。
- ・バッグのかぶせ部分は体側に来るようにする。
- ・椅子に座っている時は、貴重品の入ったバッグは足下に置かず、膝の上に置く。